

学習意欲を高め、基礎・基本の定着を目指した指導の充実

【幸手市教育委員会】

1 学校・学年・教科

小学校・第4学年・社会

2 取組内容

(1) 児童の主体的な学習を促す学習計画

- ①各単元毎に単元計画を明示することで、児童が単元の見通しをもちながら学習を進められるように指導を工夫した。
- ②各単元毎の課題づくりと1時間ごとの課題づくりを大切にし、児童の疑問から児童と一緒に課題をつくっていく学習を心がけた。

(2) 資料の効果的活用

①外部指導者による出前授業

- ・外部指導者による「地図のよみ方」の授業を実施した。そこでは、地図の見方、地図記号やマークの意味、地形や特産物、索引による探し方等を学習した。専門的な知識をもつ指導者の授業により、児童の学習意欲が高まるとともに、記憶に残る授業となったため、知識の定着につながった。

②白地図の活用

- ・埼玉県各市町村、鉄道、高速道路、土地利用等、調べたことを白地図にまとめる活動を取り入れたことで、視覚的に知識を定着させることができた。

③資料の読み取り方の学習

- ・グラフや表、写真や図などの資料を読み取る際のポイントを具体的に例示した。グラフでは縦に見る方法や横に見る方法・注目する点、表では表題や数値などのポイントを示したことで、児童の資料の読み取る力が高まった。また、資料同士を比較したり、関連づけたりする方法も指導したことで、個人差はあるが、新聞などにまとめる際の活用力にもつながった。

④掲示資料の活用

- ・埼玉県地図や地図記号、方角などを常に教室に掲示していることで、社会の授業以外でも関係する言葉が出てきたときには、すぐに関連づけることができた。

(3) 社会科見学の取組

第4学年の社会科見学は、行田浄水場・利根大堰・杉戸環境センターを見学する。

- ① 事前の調べ学習で、わかったこと・疑問点・もっと知りたいこと等を整理してまとめておくことで、見学する際に見たり聞いたりするポイントを明確にさせることができた。また、実際に見学したときには、その学習内容の実感を伴った理解につながった。
- ② 小グループによる壁新聞コンクールを実施したことで、仲間とともに学ぶ良さを感じながら、見学を含めた学習内容の更なる理解につながった。